

史料紹介・宇都宮東太日記（一）

安藤，保

<https://doi.org/10.15017/1854967>

出版情報：史淵. 137, pp.31-88, 2000-03-10. 九州大学文学部
バージョン：
権利関係：

史料紹介・宇都宮東太日記（一）

安藤保

高山郷（現、鹿児島県肝属郡高山町）の日記としては、秀村選三氏により『守屋舎人日帳』全十一巻が刊行されており、幕末〜明治初期の高山の研究には必携の史料として高い評価を得ている。

ここで紹介する宇都宮東太の日記も同郷の日記である。明治六年三月から始まるこの日記は、『守屋舎人日帳』が明治四年十一月で終わっていることからして、一年余の空白はあるにしても、その後の高山の実状を知る貴重な史料であることはまちがいない。この日記の存在は、『高山郷土誌』などに利用されていることよって知られてはいたが、部分的引用であり、全体については紹介されることがない。『守屋舎人日帳』とは異なる視点で、しかもその後を明治三十五年まで記しており、私日記ではあるが、東太の職掌柄、公的内容を含んでいる。

大隅半島の南端、肝属郡の北東部に位置する高山郷は、薩摩藩の直轄郷、すなわち地頭支配の郷の一つであり、文政九年『薩藩政要録』によると、郷高一万一千九百九十九石余、郷士総人数五四八八、野町、浦を持つ大郷である。宇都宮家は、明和八年「高山衆中高極帳」で五〇石四五三七六才、文化二年「高山郷士高極帳」で五六石五七三四六才の石高を持つ上級郷士の一人であり、郷役の頭である郷士年寄（噺）をも勤め、郷行政にも深く関わっている。また、東太は明治以降も戸長、大区副区長など地方行政の責任者として、教育関係の公職、さらには県

會議員をも勤め、公人としての性格を持っている。

宇都宮家を特色づけるのは、薩摩藩では特異な權威をもつ修験者（山伏）の家であることと、私（家塾）的に高山郷の子弟教育に関わっていたということである。

前者については、日記でも触れられることは少なく、同家の他史料でも明確でない。『高山郷土誌』には「東太は代々修験者の家に生まれ、幼児和州の大峰に入山し、修験道を修めたと言われている」とあるが、あくまでも伝聞にすぎない。ただ、天保十四年、東太二十六才の時、大和国吉野を訪ねていることにわずかに修行の痕跡をみることができるようである。東太は六月朔日、高山を発ち、閏七月二十七日帰宅したが、この間、七月十日、伏見から吉野へ行き、二十二日から三輪へ滞在している。その後は諸所を歴遊し、また、京に借宅して滞在を続け、九月二十四日大坂で日州美々津の船に乗船し、帰郷した。

後者では、維新期の庶民勤皇家として知られる是枝柳右衛門との関係で触れられることが多い。

是枝柳右衛門貞至は、薩州谷山郷松崎の町家に生まれたが、家困窮のため両親と共に十五才の時申良郷柏原へ移住し、翌年高山へ移り住んだ。柳右衛門は魚・塩の行商で生活を支え、この間に宇都宮東太に学んだ。柳右衛門の末弟で、柳右衛門の死後家を継いだ茂兵衛から、島津家家史編纂掛へ提出された「是枝柳右衛門履歴書」には、「高山ニ於テ教育セラレシ折、常ニ師トセシ宇都宮某ハ亡兄カ心中モ悉シク存候人」と東太について触れ、そのでの勉強について「高山寄留中夜学ヲ勉励シ、少シク字義モ弁スル様罷成」と記す。

両者の出会いは、柳右衛門が学んでいた鍼灸の治療を東太の父東学院から依頼されたことにはじまり、その時、入門を願い出、許された（黒木弥千代『幕末志士是枝柳右衛門』）。この時、両者の間でつぎの間答があつたと「遺訓」にある。

亡貴兄昔私方に入学の折申さるるには、学分は我が好む所なれども振売商にて渡世する者の不似合事にては

無きかと問はれ候に付、私申すには学問は何ぞ読書のみを云ふに非らず、日常のことにて商人なれば商業を勉勵し、農人なれば農業を勉勵し、父に事へ妻子を育ひ、各其の道を尽すこそ正しき学問なるべし、才芸は枝葉なると相答へ、夫れを信して亡兄は夜学に就き、教を受け人間の義理を弁へ、言行正しき人と成られたり（伊地知茂七『贈従四位是枝柳右衛門翁之傳記』）

柳右衛門は高山で二〇年ほど過ごし、三五才の時故郷の谷山へ帰住した。谷山では商業の合間に町中の児童の教育にあたった。ペリーの来航を機に国事へ関わるようになっていったが、寺田屋事件で藩に捕縛、屋久島へ流罪となり、翌年、赦免されながら同島で病死した。

日記の筆者である宇都宮東太は、文政元年三月三日、東学院快孝の嫡子として生まれた。母は守屋氏。初名は快通、または快哉、名を正直、東太と通称した。

日記は、慶長六年から明治六年三月までと、同年三月十日から三十五年七月七日までとは記載形式、記載内容共に異なる。

前者は、家族の慶弔を中心にして、若干の高山郷その他の動きをメモ的に記した年表であり、後年、資料により整理したものであるが、整理の時期は分からない。是枝柳右衛門との関係も、ここには何ら記されておらず、日記と称することはできない。

後者は、東太の動きが細かに記される個人の日記である。

したがって、ここでは前者の一部を含め、後者の始まる明治六年から紹介することにする。

凡例

一、漢字は、正字・異体字は当用漢字に、^ノの合字および変体仮名は平仮名に改めたが、^b・而・江はそのまま

とした。

二、改行・欠字なども書き続きとして、適宜並列点・読点を付した。

「日記

藤原正直」

○明治六癸酉年 ○正直年五十六

一月 ○十八日串良方限為副区长

二月

三月 ○都城県ヲ廃シ宮崎県ヲ置ク、自是肝付郡モ鹿児島県ニ属ス

一明治六年癸酉一月十八日串良方限副区长被仰付相勤居候処、其後無程都城県被廢候付、廃官相成居候得共、亦同年二月廿八日、高山・内之浦・始良・高隈・串良・百引・市成・鹿屋・田代大区副長被仰付、於鹿児島県庁同役東郷九左衛門名代ニ而承知之段申来候事

酉三月十日 晴天 旧曆二月十二日

一此節大区副長被仰付候御礼として出県いたし候、今日四ツ時分宿許出立、鹿屋通行、花岡町迄差越止宿、為供夫野町正三郎召列候事

一大根占・小根占・佐多之儀、初垂水郡治所管轄候得共、高隈・市成・百引繰替ニ相成、鹿屋郡治所管轄ニ被仰

付候事

同十一日 雨半天 旧曆二月十三日

一今日天氣惡敷、花岡滞在

同十二日 晴天 旧曆二月十四日

一今日花岡出立、垂水中之俣迄差越候得共浪立ニ而出船不相叶、同所止宿、中途方鹿兒島下町之方角ニ当煙立、失火と見受差越候処、夜入鹿兒島方帰船有之、其便方学校不残焼失ニ及候由承候事

酉三月十三日 晴天 旧曆二月十五日

一今日五ツ過中之俣出帆、八ツ時分前之浜江着船いたし、七ツ時分鹿屋方限大区長肝付郷右衛門殿所江致見廻候事

一鹿屋方限は、大区長は肝付郷右衛門、副長は東郷九左衛門・大田八郎・有川源藏・函師太郎八・拙者迄五人

同十四日 晴天 旧曆二月十六日

一今朝大山参事御宅江為御礼参上、帰掛郷田良右衛門殿江門前ニ而取逢、折角立寄候様被申候付、立寄長々相咄、四ツ過問屋江罷帰候、八ツ後ニは田畑権参事宅江為御礼参上、帰掛齒牟田江下り、函師氏・有川氏江見廻、夜入問屋江罷帰候事

酉三月十五日 雨天 旧曆二月十七日

一今日終日問屋江罷在、不致他出候事

同十六日 晴天 旧曆二月十八日

一今日九ツ後同席大田氏江見廻、夫は河俣仲次郎所江見廻、夫は平野林左衛門殿所江同断、帰掛山本宇源多殿所江見廻、七ツ過問屋江罷帰候事

同十七日 曇天 旧曆二月十九日

一今日昼迄は問屋江罷居、七ツ時分養蚕会社社長税所竹兵衛殿江見廻いたし候得共、留主ニ而空敷帰掛、立馬場ニ而同人江行逢候付引返し、再度税所氏江差越候、七ツ時分過宇都宮笑甫所江被招候付差越、夜入問屋江罷帰候事

同十八日 曇天 旧曆二月廿日

一今日四ツ時分大田氏江差越、同伴ニ而県庁内郡治所江初而致出勤候、八ツ時分退出、問屋江罷帰候事

酉三月十九日 晴天 旧曆二月廿一日

一今日四ツ時郡治所江出勤、八ツ時分退出、七ツ時分肝付氏江差越候、地券方ニ付引合之儀有之、帰掛地券掛田代兼殿所江立寄候得共留主ニ而罷帰候事

春分 同廿日 曇天 旧曆二月廿二日

一今朝六ツ後田代兼殿所江差越逢取候、四ツ時方郡治所江出勤、八ツ時退出、問屋江罷帰候事

同廿一日 雨天 旧曆二月廿三日

一今日休日、無事ニ而終日問屋江罷在候事

一東京近衛兵銃卒之面々帰船ニ而高山より上京いたし居候兒島治四郎・山之内休次事も致帰県候事

酉三月廿二日 雨半天 旧曆二月廿四日

一河俣仲次郎殿ニも近衛兵銃卒ニ而上京之處、昨日帰県ニ付、今朝致見舞候、帰掛大田氏江立寄同道ニ而郡治所江出勤、八ツ後退出、問屋江罷帰候事

同廿三日 雨天 旧曆二月廿五日

一今日無事ニ而終日問屋江罷在候事

同廿四日 曇天 旧曆二月廿六日

一今日帰郷之含ニ而昨日郡治所ニは暇申置候得共、順風無之、終日問屋江罷在候事

同廿五日 晴天 旧曆二月廿七日

一今日出帆之筈ニ而肝付氏江暇乞として差越、則罷帰仕舞方いたし居候得共、模様悪敷相成、今日も出船取止候

事

同廿六日 曇晴天 旧曆二月廿八日

一今朝五ツ後前之浜致出船、初は海上平和ニ有之候得共、観音先之辺に風強相成候付、垂水貝潟江押付致上陸、人馬繰替陸地に古江迄差越、致一泊候事

酉三月廿七日 晴天 旧曆二月廿九日

一今朝五ツ時古江出立、鹿屋町立宿ニ而同所役々ニも見廻有之、七ツ時帰宅いたし候事

同廿八日 晴天 旧曆三月朔日

一今日高山郷役所江一刻致出勤候事

同廿九日 晴天 旧曆三月二日

一昨夜九ツ時分失火ニ而柏原中町拾貳家部及類焼候段、串良副戸長萩原静吾差越届申出候ニ付、則静吾同道ニ而柏原江差越見分、且火起之次第相糺候处、火本は伝次郎と申者ニ而極老氣薄、囲爐裏之火不仕抹ち起り、全差火等之不審不相見得候付、所役々披露書ニ添書いたし、出県大区長肝付氏江申越候事

酉三月三十日 晴天 旧曆三月三日

一今日無事ニ而終日内居

同三十一日 晴天 旧曆三月四日

一今日無事ニ而終日内居候、野崎村之金助外ニ新留村方壱人草器作頼入、駄手籠作方いたし候事

西四月一日 晴天 旧曆三月五日

一今日無事ニ而終日内居

同二日 晴天 旧曆三月六日

一今日日高宗次郎・日高利兵衛・守屋周一郎・児島大助・謙吉・二階堂元知代同伴彦鶴千代召列、下井倉古城江花見ニ差越候、川狩之人数は右田仲次郎・迫田十蔵・町長次郎・源次郎、外ニ池之藪之佐助、男子都合五人、七ツ時分鯉・紅鮒過分得漁有之、持越候付喰方いたし、暮時分罷帰候事

西四月三日 晴天 旧曆三月七日

一今日内居、津曲休五郎参り、地券絵図書方いたし候事

同四日 晴天 旧曆三月八日

一今日も地券絵図書方いたし候、大工有馬宗之進頼入、霊祭ニ相用候折櫃ニツ作方いたし候事

清明 西四月五日 晴天 旧曆三月九日

一串良江郷校方趣法立用として杉木申請有之、建方として今日四ツ時分宿許打立差越候、岡崎村役所之上ニ立宿

手当ニ而、串良戸長小田良輔、副戸長中村助八相待居候付、一刻立寄、夫方同道ニ而細山田村江九ツ過着いたし候、旅宿生栗須之弥右衛門所ニ而候、同村掛副戸長小田禎藏見廻有之、八ツ時分右役々三人立会ニ而同村田原迫杉木見分、極印召入候、日入時分旅宿江帰候事

酉四月六日 晴天 旧曆三月十日

一今日五ツ過方前文同断、山床江差越杉木見分いたし候、戸長小田良輔ニ交代罷帰候、終日建方ニ而昨日より今日迄杉木都合大小式千三拾四本見分相濟、日入時分旅宿江帰

同七日 晴天 旧曆三月十一日

一今日野取帳首尾合ニ而、木脇祐知・中村助八・小田禎藏朝方拙者旅宿江出会ニ而候、同所戸長池田堤介、副戸長萩原兼保、同村江災殃地取調方として差越候序見廻有之候、首尾合相濟八ツ後方木脇祐知・児島周吉同伴高隈之内谷田瀧見物として差越、日入時分旅宿江帰

同八日 晴天 旧曆三月十二日

一今日五ツ後細山田村出立、上小原村迄差越止宿、木脇祐知ニは細山田村より暇申出相別、中村助八ニは上小原村迄相付差越候、左候而助八ニは七ツ時分暇申出罷帰候、拙者旅宿城ヶ崎之伊平次所ニ而候、村掛副戸長松下周助見廻有之候事

酉四月九日 雨半天 旧曆三月十三日

一今日串良上小原村出立、宮下村立宿ニ而始良町江差入候、宮下村立宿ニ而守屋納一郎段々伺事有之、半時計ニ及、八ツ後始良町江着、所役々見廻有之候事

同十日 雨半天 旧曆三月十四日

一今日麓村所々致見分候、始良戸長松山為政、副戸長迫田佐四右衛門出役、八ツ後旅宿江帰候、転住掛芦谷一郎殿上名村江旅宿之由承候付、宿水夫案内として召列、七ツ時分を芦谷氏江咄ニ差越候得共、留主ニ而空敷旅宿江暮時分罷帰候事

酉四月十一日 雨半天 旧曆三月十五日

一今朝拙者旅宿江芦谷氏并所役々見廻有之候、四ツ過旅宿打立致帰宅候事

同十二日 雨天 旧曆三月十六日

一今日無事ニ而内居

同十三日 雨天 旧曆三月十七日

一今日無事ニ而内居

同十四日 雨半天 旧曆三月十八日

一今日内居、垂水之紙漉当所方限皮楮買入度願ニ付、垂水方限大区長木藤氏之間合書致持参候事

同十五日 曇天 旧曆三月十九日

一今日内居、副戸長守屋納一郎致出県候事

酉四月十六日 曇晴天 旧曆三月廿日

一今日内居、副戸長成合盛演罷出、明日出県いたし候届申出事

同十七日 晴天 旧曆三月廿一日

一今日内居、当所副戸長都而宅江招呼、田地仕付催促いたし候事

同十八日 晴天 旧曆三月廿二日

一今日無事ニ而内居

同十九日 晴天 旧曆三月廿三日

一今朝五ツ後出立、串良江廻勤いたし候、当春都城県中田地普請用松木、先達而同席大田八郎見分相済居候得共、其筋極印無之候付、今日川東村江差入、濱松江極印召入候、出役戸長池田堤介、副戸長岡留祐智、篠原東ニ而候、松木建方相済帰掛新川東村、川西村栄芳見分いたし罷帰候事

酉四月廿日 晴天 旧曆三月廿四日

一今日御用無之、児島謙吉・二階堂元知代、平岡善左衛門同伴、綱彦・鶴千代召列四ツ時分脇之田之上ニ花見ニ

差越、日入時分罷帰候事

同廿一日 曇天晩雨 旧曆三月廿五日

一今日朝之間内居、九ツ後より東之丞・鶴千代・市来次右衛門・町之金右衛門召列、中村蘭之下より神之市川原江鮎子釣ニ差越候、七ツ過転住掛河野市郎右衛門拙者宅江被參、迎ニ下人之市太郎參候付、則罷帰候、左候而一郎右衛門殿江逢取、士族人配一件申請候事

同廿二日 晴天 旧曆三月廿六日

一今朝士族転住一件ニ付、野町役館江致出会候、転住掛芦谷一郎、河野市郎右衛門、所役ニは戸長日高為美・市来政武、副戸長日高為均・日高為隆・日高正政・岩城孫太郎・大窪与宗太・吉田伝左衛門出会ニ而、段々及評議、九ツ後より芦谷氏・河野氏・日高為均・日高正政同道ニ而、後田村江屋敷見賦として出張ニ相成、拙者并外所役々は引取候事

西四月廿三日 晴天 旧曆三月廿七日

一今日九ツ時分より新留村・前田村田地見分いたし、暮時分前田村より罷帰候事

同廿四日 雨天 旧曆三月廿八日

一今日無事ニ而内居

同廿五日 晴天 旧曆三月廿九日

一 今日無事ニ而内居

同廿六日 晴天 旧曆三月晦日

一 社倉方圉之米波見之東太郎申請、今日払出有之、九ツ時分ち社倉方江出役、日入時分罷帰候事

同廿七日 晴天 旧曆四月朔日

一 今日無事ニ而内居

酉四月廿八日 晴天 旧曆四月二日

一 今日無事ニ而内居

同廿九日 雨半天 旧曆四月三日

一 今日不快有之内居、致薬用候事

同三十日 雨半天 旧曆四月四日

一 今日無事ニ而内居

酉五月一日 晴天 旧曆四月五日

一今日内居候、波見之東太郎琉球下りニ而、今日出立いたし、拙者所江立寄候事

同二日 晴天 旧曆四月六日

一検場掛伊東紋次郎郷付役三人召列、東目諸所部下村并勞場所見分として被差越、今日富山村栄勞見分、土例等有之候付、今朝六ツ過方彼方江致出役候、七ツ時分富山村之儀は相濟候付罷帰候事、所役ニ市来政武・日高為隆・児島大助出役、検場掛一列は富山村泊ニ而候

西五月三日 晴天 旧曆四月七日

一転住掛芦谷氏・河野氏後田村滞在ニ付、今日彼方江差越候得共、河野氏ニは始良之様転宿跡ニ而不逢取、芦谷氏旅宿ニ而長々相咄、七ツ後罷帰候事

同四日 晴天 旧曆四月八日

一今日無事ニ而内居

立夏 同五日 晴天 旧曆四月九日

一検場掛伊東氏後田村方昨日野町役館江転宿有之、今日新留村より野崎村見分之筈候付、今朝致見廻、七ツ過方亦見分先ニ差越、伊東氏旅宿ニ而長々相咄、夜入罷帰候事

同六日 晴天 旧曆四月十日

一今日内居、昨日垂水士族長友善友、月毛駒三才取入候付、今朝初而致乗方候事

酉五月七日 晴天 旧曆四月十一日

一今日無事ニ而内居

同八日 晴天 旧曆四月十二日

一今日無事ニ而内居

同九日 雨天 旧曆四月十三日

一今日無事ニ而内居

同十日 雨天 旧曆四月十四日

一今日無事ニ而内居

同十一日 曇天 旧曆四月十五日

一今日無事ニ而内居

酉五月十二日 晴天 旧曆四月十六日

一今日高山御藏方同所士族家禄米并俸禄米払出有之致出役候、出納改役片野坂助左衛門・山口五郎兵衛、所役日

高為美・守屋重好、藏掛副戸長日高為均出役ニ而候、拙者ニは七ツ過引取、帰掛児島氏墓所江立寄候、夫方児島大助所江差越、夜入罷帰候、叔父次左衛門墓建方有之候事

同十三日 雨半天 旧曆四月十七日

一今日無事ニ而内居

同十四日 曇天 旧曆四月十八日

一今日無事ニ而内居

同十五日 晴天 旧曆四月十九日

一今日御用無之、二階堂元知代・日高為美・日高康彊・児島謙吉・平岡善左衛門同伴、綱彦・鶴千代召列湛水院之岡江四ツ時方花見ニさし越、日入時分罷帰候事

酉五月十六日 雨天 旧曆四月廿日

一今日内居、楮皮買入一件ニ付、垂水士族石踊岩右衛門參候事

同十七日 雨天 旧曆四月廿一日

一今日内居、夜入加治木鎌田一郎被參候事

同十八日 晴天 旧曆四月廿二日

一 今日無事ニ而内居

同十九日 晴天 旧曆四月廿三日

一 今日九ツ後鎌田一郎被參、長々相咄、八ツ後は同伴ニ而守屋周一郎所江差越、小島謙吉・守屋常磐ニも参り、日入時分拙者ニは帰宅

同廿日 晴天 旧曆四月廿四日

一 今日無事ニ而内居

小満 五月廿一日 晴天 旧曆四月廿五日

一 今日無事ニ而内居、九ツ後串良戸長松下十郎参候事

同廿二日 晴天 旧曆四月廿六日

一 明日は内之浦江惣牛馬見分として差越賦ニ而、今日七ツ時分出立、波見迄差越止宿、宿は東太郎所ニ而候事

同廿三日 晴天 旧曆四月廿七日

一 今日五ツ時分波見出立、九ツ時分内之浦江着いたし候、仙次郎下人として召列候、旅宿は町友吉所ニ而候、役々見廻有之、八ツ後は郷役所江出役、用夫改いたし候、出役戸長相良長庸、副戸長吉井清敬ニ而候、日入時分見

分相濟旅宿江罷帰候事

同廿四日 晴天 旧曆四月廿八日

一今日四ツ時分惣牛馬見分取付ニ而、麓町・南方村・北方村都而相濟候事

同廿五日 晴天 旧曆四月廿九日

一今日五ツ時分町出立、山越ニ而岸良村江差入、着掛牛馬見分、七ツ後相濟、致一泊候、宿は善太郎と申ものニ而候、所役は相良長庸・吉井清敬ニ而候事

西五月廿六日 晴天 旧曆五月朔日

一今日岸良村出立、灘道通行、八ツ時分町旅宿江着いたし候、高山より大田恕吉ニも岸良江馬買ニ差越居、同道ニ而内之浦町江出候事

同廿七日 晴天 旧曆五月二日

一今朝内之浦出立、山越ニ而波見浦江出候、中途は大田恕吉ニも致同道候、峠ニ而蔵改検使として巡回之川上作右衛門、出納改役山口五郎兵衛江取逢候、八ツ時分波見江着、宿は東太郎所ニ而候事

同廿八日 晴天 旧曆五月三日

一今朝申良・柏原江川渡いたし、町ニ而同所川東村・川西村・新川西村致見分候、出役は戸長木脇祐知、副戸長

萩原兼保・岡留祐智・篠原東二而候、九ツ時改濟之上、亦々波見江帰、波見村・野崎村両在牛馬致見分、日入時分相濟候、出役は伊東祐之・日高為均・二階堂昇二而候、今晚波見止宿

西五月廿九日 雨半天 旧曆五月四日

一今朝五ツ時分波見出立、柏原江渡、役々同道二而串良上小原村江差入、同村下小原村両在牛馬見分いたし同所江止宿、旅宿は平原之小右衛門所二而候、出役は松下十郎・萩原兼保・岡留祐智・松下周助

同三十日 雨半天 旧曆五月五日

一今朝上小原村出立、池之原村江差入、同村岡崎村・岩弘村牛馬致見分、七ツ後相濟、其跡二而用夫改いたし、日入前相濟候、所役は昨日之通出会二而候、左候而外役々二も見廻有之候、旅宿は町常助所二而候事

同三十一日 雨天 旧曆五月六日

一今朝野町出立、有里村江差入、同村并細山田村牛馬致見分、七ツ時分相濟、今晚同所江止宿

西六月一日 雨天 旧曆五月七日

一今日有里村出立、高山之様致帰宅候事

同二日 雨半天 旧曆五月七日

一今日何方江か野遊いたし度申談置候得共、雨天二而不相調、九ツ時分より鎌田一郎・二階堂元知代・児島大助・

児島謙吉同伴、守屋周一郎所江集會いたし、夜入皆共引取候事

同三日 晴天 旧曆五月九日

一今日無事ニ候、鎌田一郎帰郷ニ付、一刻児島謙吉所江致見廻候事

同四日 晴天 旧曆五月十日

一今日当所於野町、士族方町、新留・前田両村牛馬見分いたし候、戸長伊東祐之、副戸長日高為均・日高為隆・成合盛演出役ニ而候、日入時分相濟皆共引取

酉六月五日 晴天 旧曆五月十一日

一今日宮下村・富山村・後田村牛馬見分いたし、所役々昨日之通出會ニ而、日入時分改方相濟引取候事

芒種 同六日 晴天 旧曆五月十二日

一今朝五ツ時分出立、始良町江差入、惣牛馬致見分候、戸長松山為政、副戸長田野辺親長・石田清武・鎌田政幸・木佐實実直・入部五郎出會有之、七ツ時分改方相濟高山之様罷帰候事

同七日 晴天 旧曆五月十三日

一今日御用無之内居候処、垂水紙漉長友善友弟、皮楮買入方として差越候付、後田村之様差遣、村掛方江申越候事

酉六月八日 晴天 旧曆五月十四日

一終日無事ニ而内居

入梅 同九日 晴天 旧曆五月十五日

一終日無事ニ而内居

同十日 雨半天 旧曆五月十六日

一同席東郷九左衛門・凶師太郎八、此節郡治所申請杉木建方として差入ニ而、凶師氏は串良滞在、東郷氏は昨日波見江差入之由承候付、八ツ時分を見舞旁として差越候、旅宿は作左衛門所ニ而候、長々相咄、日入時分帰宅

同十一日 晴天 旧曆五月十七日

一今日無事ニ而内居

同十二日 雨天 旧曆五月十八日

一今日内居候、異国人辺田江致上陸、村中之もの共致騒動候付、役々江早々馳付候様、波見滞在東郷九左衛門在役を以申越候段、戸長日高為美方申出候付、則暮過所役所迄差越候得共、出勤之筋ニ不相見得、日高為美所江役々相揃候筋ニ見受候付、則立寄役々早々駈付候手筈、且又狼藉いたし候儀も難計候付、為念其心得ニ而諸事無抜目致手当置候様致差図罷居候処、無程狼藉等いたし候もの共ニ而は無之、汐掛ニ而致上陸候筋ニ相見得候付、役々急々差越ニは不及段、亦々東郷氏方申越候由承候、村掛ニ階堂昇折柄浦江詰居候付、則為駈付由候

得共、最早其節は蒸氣を揚ケ出帆ニ及、何方国之船とも委敷不相分候事

酉六月十三日 雨天 旧曆五月十九日

一終日無事ニ而内居

同十四日 雨天 旧曆五月廿日

一終日無事ニ而内居

酉六月十五日 雨天 旧曆五月廿一日

一終日無事ニ而内居

同十六日 雨半天 旧曆五月廿二日

一始良江同席凶師太郎八租税課山方掛甲斐助八滞在ニ而、先日方郡治所申請杉木建方有之、今日は当所後田村之様差入、建方之賦ニ而拙者ニも出役之管候得共、雨も様ニ而見合居候処、波見方同席東郷九左衛門ニは出役之賦ニ而、野町江出掛候処、甲斐氏病ニ而建方不相調、勿論雨中之事故、一先鹿屋之様引取之筋申来、東郷氏ニは則鹿屋之様被差越、拙者ニも後田村出張ニ不及候事

同十七日 雨天 旧曆五月廿三日

一終日無事ニ而内居

同十八日 雨天 旧曆五月廿四日

一今日無事ニ而内居

西六月十九日 曇天 旧曆五月廿六日

一今日無事ニ而内居

同廿日 曇晴天 旧曆五月廿六日

一今日無事ニ而内居

夏至 同廿一日 晴天 旧曆五月廿七日

一今日無事ニ而内居、昨日は平岡善左衛門頼入、庭草取いたし候事

同廿二日 晴天 旧曆五月廿八日

一今日無事ニ而内居

同廿三日 晴天 旧曆五月廿九日

一今日無事ニ而内居

同廿四日 晴天 旧曆五月晦日

一当式才牛馬札申請方として始良副戸長石田清武、串良副戸長岡留祐智、内之浦副戸長白坂郷左衛門差越、焼印押方いたし、札相渡候事

酉六月廿五日 曇晴天小雨 旧曆六月朔日

一今日無事ニ而内居

同廿六日 晴天 旧曆六月二日

一今日無事ニ而内居、亡父忌祭いたし候事

同廿七日 晴天 旧曆六月三日

一鹿屋郡治所未作事出来不相成候得共、一人は是非相話居候筋決定いたし候付、近々同席大田八郎差越候得共、其内相話居候様東郷九左衛門ら及掛合、九左衛門ニは一昨日出県之由ニ付、今日ら鹿屋江差越相話候、旅宿は横町之油屋ニ而候、着涯ら所役々見舞有之候事

同廿八日 晴天 旧曆六月四日

一今日格別之御用も無之、所役々見舞等有之候事

酉六月廿九日 晴天 旧曆六月五日

一昨日同断、所役々見廻有之候事

同三十日 雨半天 旧曆六月六日

一拙者事腫物いたし候付、戸長小田為徳江内々頼置、七ツ時分も高山之様中戻いたし候事

西七月一日 雨天 旧曆六月七日

一今日無事ニ而内居

同二日 雨天 旧曆六月八日

一今日無事ニ而内居

同三日 雨半天 旧曆六月九日

一今日無事ニ而内居

西七月四日 旧曆六月十日

一何方之者とも不知、年輩四十位之男、前田村上之原辺江去三十日比ち入来、柚子頭いたすものニ而、始良・串良辺江板山仕込等いたし居候筋を相謀り、旧神官木原利右衛門、士族有馬勘左衛門、上之原之森右衛門所抔江止宿いたし居候を、宿主は勿論近辺之者共狼狽者ニ而、色々相謀、決而不正之者と氣相付、昨夜当村戸長伊東祐之方江形行申出、則召捕所格護所江入置候処、手留いたし候繩を抜、右を以格護所内江自縊いたし候段、今朝申出候付、近郷江問合、元在所聞合糺方為致候得共、何方之者とも不相分候事

同五日 雨半天 旧曆六月十一日

一前件自縊者、細々本郷相糺候得共、為存者無之、何分脱走いたし候ものか、亦是色々相謀り、狼狽盜等之存念有之ものか、是迄之所行逢糺方ニ而は申分無之者ニ而、最早相捕候付不遁場と存付、差迫候処方縊死いたし候形ニ相見得候付、今日所役立会、死躰見分之上仮埋申付、形行届申出候事

西七月六日 晴天 旧曆六月十二日

一此節教部省大録山之内時習・中録猿渡容盛・十二等出仕子安信成・権小録中島乗尋、当県川上大属、画工笹川昇一列ニ而溝辺差入、内之浦高屋・始良鶴戸山陵見分として巡廻之先状相達、今日方波見着之日割ニ而、拙者ニも立会候様申来候付、七ツ後方波見江差越候事

小暑 同七日 晴天 旧曆六月十三日

一今日教部省官員一列差入無之、空敷波見江滞在

同八日 晴天 旧曆六月十四日

一今日八ツ後教部省官員一列鹿屋方波見江差入有之、銘々江見廻

西七月九日 晴天 旧曆六月十五日

一今日教部省官員一列高屋山陵見分として登山有之候得共、拙者ニは腫物未平癒不致候付、立会之儀申断相頼候、当所方戸長市来政武、副戸長二階堂昇、一祠官守屋常磐相付登山いたし候、内之浦方戸長白坂篤志、岩永等出役

之由承候事

同十日 晴天夜雨 旧曆六月十六日

一今日教部省官員一列鶴戸山陵見分ニ而、拙者ニも同道差越候、始良役々出会いたし候、八ツ時分見分相濟、始良町之様出掛、右官員ニは町江止宿、明日古江之様出立之筈、拙者ニハ夜入高山之様罷帰候、守屋常磐ニも鶴戸迄差越、守屋周一郎ニは山之内時習不快ニ付被頼始良迄差越待居候事

同十一日 雨半天 旧曆六月十七日

一今日無事ニ而内居

酉七月十二日 雨天 旧曆六月十八日

一今日無事ニ而内居

同十三日 雨天 旧曆六月十九日

一拙者腫物ニ而歩行難儀有之候付、駕籠ニ而今日も鹿屋之様差越相詰候、着涯所役々見廻有之候事

同十四日 曇天 旧曆六月廿日

一今日も所役々見廻有之候、串良・高山・始良田地仕付惣濟之届、昨日も追々相達候事

同十五日 晴天 旧曆六月廿一日

一今日も所役々見廻

一大二大区小拾五区平民加藤金左衛門三男袈婆吉致逃亡、御用有之者二而探索方之儀聴訟課を被仰渡、各郷江通達いたし候事

酉七月十六日 晴天 旧曆六月廿二日

一今日も所役々見廻有之候、村々大親を従前之通名主と改称被仰渡、各郷江布告いたし候事

同十七日 晴天 旧曆六月廿三日

一今日も所役々見廻

一郷校役員給与、神官俸禄祭米一件、出県郡治所を相達、各郷江布告いたし候事

一新造船買入、以来丈尺改之儀、大区長請持被仰付致布告候事

一高山野崎村百姓召仕者致脱走候段、所役を遂披露候付、今日出県郡治所江差廻候事

同十八日 晴天 旧曆六月廿四日

一今日始良戸長田野辺親恒伺事有之、郡治所江罷出候事

酉七月十九日 晴天 旧曆六月廿五日

一所役々見廻有之候、飯米・味噌及払底候付、宿許江取二差遣候事

土用 同廿日 晴天 旧曆六月廿六日

一今日同席大田八郎高須江着有之、七ツ過鹿屋之様被差越、則旅宿江致見廻候事

同廿一日 晴天 旧曆六月廿七日

一今日九ツ時分大田八郎旅宿江差越諸事申談候、晩は鹿屋役々々我々共江振舞有之、日入時分八郎旅宿江差越、夜入五ツ過旅宿江帰

同廿二日 晴天 旧曆六月廿八日

一鹿屋郡治所未作事無之候付、詰所も無之候得共、八郎申談郡治所作事濟迄之間、郷役所頭之間ニ相詰筋相決、今日四ツ時分も出勤、八ツ後旅宿江帰、晩は拙者旅宿江八郎相招候事

大暑 西七月廿三日 晴天 旧曆六月廿九日夏越大祓

一拙者事諸所廻勤いたし候筋八郎申談置候付、今朝六ツ時分も旅宿出立、鹿屋中名村・下名村一通り田地見分いたし候、両村共村掛副戸長出役ニて候、中名村掛有馬勇右衛門、下名村掛は野田六郎次ニ而候、下名村も始良之様差越、下名村麓村通行、田地致見分、町江着止宿いたし候、宿主は惣左衛門と申ものニ而候、戸長田野辺親恒、副戸長入部五郎出役ニ而候、着之上は役々皆共見廻有之候事

同廿四日 晴天 旧曆閏六月朔日

一今日始良滞在ニ而上名村田地見分いたし、村掛副戸長鎌田政幸出役ニ而候、朝之間ニ見分相濟候、昼波見之東

太郎罷出候、先日琉球を罷下候由

同廿五日 晴天 旧曆閏六月二日

一今朝始良出立、下名村通行田地見分いたし、副戸長入部五郎出役ニ而候、夫は高山宮下村江差入、立宿川原田之伊右衛門所ニ相休候、戸長伊東吉次郎、村掛副戸長兒島大助出役ニ而候、八ツ時分迄は村役所江皆共相休、八ツ後ち田地見分、富山村江差入候、旅宿は八右衛門所ニ而候、今晚鹿屋笠野原之役目とも招呼、郷校一件相達候事

西七月廿六日 晴天 旧曆閏六月三日

一今日高山富山村出立、串良上小原村・下小原村通行田地見分、下小原村之内甫之木之小右衛門所江止宿、戸長池田堤介・岡留祐智、村掛副戸長松下周助・武重恭出役ニ而候事

同廿七日 晴天 旧曆閏六月四日

一今日七ツ時分甫之木小右衛門所出立、中途田地見分、池之原村江差入候、旅宿は新吉所、副戸長中村助八・平山武敏出役、宿江着之上所役々見廻

同廿八日 晴天 旧曆閏六月五日

一今日池之原村滞在、所役々并郷校掛役員、社倉掛見舞有之候事

西七月廿九日 晴天 旧曆閏六月六日

一今朝池之原村出立、中途田地見分いたし唐仁町江差入止宿、旅宿は五藤次所ニ而候、戸長木脇祐知、副戸長中山武敏出役ニ而候、村掛副戸長池田郁之助ニは旅宿江着之上見廻有之候、今日之暑寒ニ難凌候付、昼過る大塚之杜山ニ納涼ニ所役々列立差越候事

同三十日 晴天 旧曆閏六月七日

一今朝唐仁町出立、船方川下、高山波見江差入候、旅宿は浦之東太郎所

同三十一日 晴天 旧曆閏六月八日

一今日波見滞在、内之浦副戸長蓑毛郷右衛門御用ニ付旅宿江差越候事

西八月一日 晴天 旧曆閏六月九日

一今朝波見出立、中途波見野崎・新留田地見分いたし、四ツ時分帰家、見分ニは伊東吉次郎、副戸長守屋納一郎・

二階堂昇出役ニ而候

一今日罷帰候処、母腹ニ癰を発し候付、看病いたし、何方江も出勤不致候事

西八月二日 晴天 旧曆閏六月十日

一今日母病看いたし内居

同三日 晴天 旧曆閏六月十一日

一今日も母看病いたし内居

同四日 晴天 旧曆閏六月十二日

一今日も右同断

同五日 晴天 旧曆閏六月十三日

一今日も右同断

一当夏は連日之旱魃ニ而、何方も田地用水続兼、雨乞等有之、爰許今日と宗社并川上神社江雨乞有之候事

酉八月六日 雨半天 旧曆閏六月十四日

一今日も母看病ニ而内居

立秋同七日 雨天 旧曆閏六月十五日

一今日も右同断

同八日 雨天 旧曆閏六月十六日

一今日も右同断

同九日 雨天 旧曆閏六月十七日

一 今日も右同断

同十日 雨天 旧曆閏六月十八日

一 今日も右同断

同十一日 雨天 旧曆閏六月十九日

一 今日右同断

西八月十二日 雨天 旧曆閏六月廿日

一 今日も母看病ニ而内居

同十三日 雨天 旧曆閏六月廿一日

一 串良救助筋金銭出入見届、先日^方致証印賦候得共、母病氣ニ付出勤不相調、然処今日串良役々首尾合之諸帳面被持越候付、見届致証印候事

同十四日 雨天 旧曆閏六月廿二日

一 母腫物も漸々快方ニ向候事

同十五日 晴天 旧曆閏六月廿三日

一今日も無事ニ而内居

一郡治所之儀も被廢候付、拙者共ニも廢官之事

同十六日 晴天 旧曆閏六月廿四日

一今日も無事ニ而内居

酉八月十七日 晴天 旧曆閏六月廿五日

一今日無事ニ而内居

同十八日 晴天 旧曆閏六月廿六日

一今日無事ニ而内居

同十九日 晴天 旧曆閏六月廿七日

一今日無事ニ而内居

同廿日 晴天 旧曆閏六月廿八日

一今日無事ニ而内居

同廿一日 晴天 旧曆閏六月廿九日

一今日無事ニ而内居

同廿二日 旧曆閏六月晦日

一今日無事ニ而内居

処暑 酉八月廿三日 晴天 旧曆七月朔日

一今日無事ニ而内居

同廿四日 晴天 旧曆七月二日

一今日無事ニ而内居

同廿五日 晴天 旧曆七月三日

一今日拙者宅ニ而春夏出来白糸掛占いたし候、戸長市来平右衛門、下役彦一・伊助出会ニ而候、出来糸春夏都合六貫九百目余ニ及候事

同廿六日 晴天 旧曆七月四日

一旧知事公此節御下国ニ付、為御祝儀日高弥八郎・大窪与宗太出果有之候事

同廿七日 晴天 旧曆七月五日

一今日白糸上納として下役町伊助出県候事

同廿八日 晴天 旧曆七月六日

一今日川狩取企、鮎喰として二階堂元知代・児島大助同伴、四ツ時分ち堂蘭硝石丘之日記所江差越候、網打は日高喜右衛門・大窪養甫・児島謙吉、追手は迫水休右衛門・町之源治郎・東次郎・正三郎二而候、吉川弥太右衛門二も跡ち被差越候、日入時分皆共引取候事

酉八月廿九日 晴天 旧曆七月七日

一拙者事昨日ち些風邪氣分之様有之候処、喉痺之様咽痛ミ及薬用候事

同三十日 晴天 旧曆七月八日

一今日も咽之痛不快候事

同三十一日 曇天時々小雨 旧曆七月九日

一今日町利三次召呼東次郎鶉借入、鳴方いたし候事

一鹿屋副戸長野田六郎次、鹿屋郡治所詰中一礼として酒肴持参有之候事

酉九月一日 晴天 旧曆七月十日 二百十日

一拙者咽之痛も快方ニ而、馬乗いたし候事

西九月二日 雨半天夜風雨 旧曆七月十一日

一今晚津曲新右衛門病死ニ付、悔として差越候事

同三日 風雨 旧曆七月十二日

一今日不快有之内居候、津曲新右衛門葬送ニ而候得共、得不差越候事

同四日 雨天 旧曆七月十三日

一今日無事ニ而内居

同五日 曇天 旧曆七月十四日

一今日無事ニ而内居

同六日 晴天 旧曆七月十四日

一今日は望月ニ而丸岡江月見として七ツ過_るニ階堂元知代・児島謙吉同伴ニ而差越候、児島大助・日高彦五郎ニも参候、町藤右衛門ニも参候、夜入五ツ過罷帰候事

西九月七日 晴天 旧曆七月十六日

一 今日無事、七ツ時分と東原江鶴千代外二児共召列鈴虫取ニ差越候事

白露 同八日 雨天 旧曆七月十七日

一 今日無事、町吉次郎江相頼鏡研方いたし候事

同九日 雨半天 旧曆七月十八日

一 今日無事ニ而内居

同十日 晴天 旧曆七月十九日

一 先日致売上候白糸代相渡候付、配分之算面いたし候、市来平右衛門・町良市・伊三郎ニも出会ニ而候事

同十一日 晴天 旧曆七月廿日 二百廿日

一 今日も昨日同断、白糸代算面ニ而候事

同十二日 雨天 旧曆七月廿一日

一 今日白糸代致配分候、市来平右衛門、町下役共も参候事

西九月十三日 雨天 旧曆七月廿二日

一 今日無事ニ而内居

同十四日 晴天 旧曆七月廿三日

一今日亡祖父忌祭ニ而、致墓参候事

同十五日 晴天 旧曆七月廿四日

一今日無事ニ而内居

同十六日 晴天 旧曆七月廿五日

一今日無事ニ而内居

同十七日 晴天 旧曆七月廿六日

一今日無事ニ而内居

同十八日 晴天 旧曆七月廿七日

一今日墓前之花立竹伐方為致、宇都宮才助相頼挽方いたし候事

西九月十九日 雨半天 旧曆七月廿八日

一今日墓拵方ニ而未明方家中差越候、下人市太郎・源之助、外東廻之太郎相頼列越候、四ツ時分相仕舞罷帰候、東之丞ニは諏訪神社神事ニ付、墓拵ニは不差越候事

彼岸 同廿日 晴天 旧曆七月廿九日

一 上之市之佐太相頼、垣摘方いたし候事

同廿一日 晴天 旧曆七月晦日

一 昨日垣摘方不相濟候付、今日佐太相頼つミ方いたし候事

一 今日七ツ後町正五郎弟仙蔵召列、東廻之正次郎所江松見ニ差越候事

同廿二日 晴天 旧曆八月朔日

一 今日馬場₆庭迄内外草取掃除、下人市太郎・源之助江為致候事

秋分 西九月廿三日 晴天 旧曆八月二日

一 今日快明忌祭いたし、類中も相招候事

同廿四日 晴天 旧曆八月三日

一 今日無事ニ而内居

同廿五日 曇天 旧曆八月四日

一 今日無事ニ而内居

同廿六日 雨天 旧曆八月五日

一今日無事ニ而内居

同廿七日 雨天 旧曆八月六日

一今日無事ニ而内居

同廿八日 曇天 旧曆八月七日

一今日無事ニ而内居

西九月廿九日 曇晴天 旧曆八月八日

一今日内居、新留村竿之口魚取企、下人源之助差遣候、跡^ら東之丞ニも差越候、晚付^ら波見下ヶ原之様魚取ニ差越、謙助・東之丞ニも差越、夜四ツ時分過罷帰候、源之助ニは夜通之漁ニ而不罷帰候事

同三十日 雨半天 旧曆八月九日

一今日内居候、亦々波見下ヶ原江魚取として下人源之助差越候、切通強次郎并謙介所^ら周一同伴ニ而差越候、七ッ過罷帰候事

一内之浦謙介・日高亀千代其外式才之面々孟子講儀いたし呉候様ニとの事ニ而今日^ら相始候、尤講儀央ニ鹿屋苗代川師員東郷龍佐内用ニ付被参候事

酉十月一日 雨天夜風 旧曆八月十日

一今日内居、二才之面々会説ニ参候事

同二日 大風雨 旧曆八月十一日

一今日終日之風雨ニ而七ツ時分甚強相成、倒家等も段々有之、新留村・前田村母溝相埋、其外村々砂入、洗剝等不少候、乍併人馬怪我等は無之候、洪水之儀も近年稀成深水ニ而候、拙宅やねも都而吹剝、門左之塀吹倒、垣廻等も痛ニ及候事

酉十月三日 曇天 旧曆八月十二日

一今日終日内居、風吹荒候跡取始抹ニ而候、やね葺兩人相頼、やね取繕方為致候得共不相濟候

同四日 晴天 旧曆八月十三日

一今日も終日昨日同断、庭廻取仕抹ニ而候、やね葺も相頼候、やね取繕之分は相濟候事

同五日 晴天 旧曆八月十四日

一今日内居、門塀廻取繕ニ付、木挽之新藏頼入候事

一今日も二才之面々会説ニ参候事

酉十月六日 晴天 旧曆八月十五日

一 今日内居候、塀廻取繕二付、大工あくね小兵衛、横間之三次郎相頼候事

同七日 晴天 旧曆八月十六日

一 今日内居候、塀廻取繕方今日迄相済候事

寒露 同八日 晴天 旧曆八月十七日

一 今日内居、大工之三次郎耆人今日迄は頼置、部屋之戸取繕候事

一 今日と野村伝之助にも会説ニ参候事

同九日 晴天 旧曆八月十八日

一 今日無事ニ而内居、二才之面々会説ニ参候事

同十日 晴天 旧曆八月十九日

一 今日も二才之面々会説ニ参候、七ツ過守屋周一郎門前と宗社之角迄致歩行候事

一 今日神官俸禄手形申請として内之浦謙致出県候、東之丞にも同道ニ而差越候事

酉十月十一日 曇天晩小雨 旧曆八月廿日

一 今日二階堂元千代同伴児共召列、東原郊行いたし候事

一 謙介・東之丞にも出県二付、帰迄之間会説も取止候筋申置候事

同十二日 晴天 旧曆八月廿一日

一今日無事ニ而内居

同十三日 晴天 旧曆八月廿二日

一今日無事ニ而内居

同十四日 晴天 地震 旧曆八月廿三日

一今日無事ニ而内居

同十五日 晴天 旧曆八月廿四日

一今日無事ニ而内居、野村伝之助会誂之舎ニ而參候得共、此涯取止候段申置候事

酉十月十六日 曇天夜雨 旧曆八月廿五日

一今日兎共召列東原郊行いたし候事

同十七日 雨天 旧曆八月廿六日

一今日内居、市来平右衛門・日高喜右衛門、近日出臬之由ニ而用向有之參候、日高覚左衛門ニも手形一件ニ付參候事

同十八日 雨天 旧曆八月廿七日

一 今日無事ニ而内居

同十九日 晴天 旧曆八月廿八日

一 今日内居、於拙宅馬場中水神講いたし、晚付馬場中之面々被參候事

同廿日 晴天 旧曆八月廿九日

一 今日無事ニ而内居

同廿一日 晴天 旧曆九月朔日

一 今日無事ニ而内居

酉十月廿二日 晴天 旧曆九月二日

一 今日無事ニ而内居、東之丞鹿兒島ら罷帰候事

霜降 同廿三日 晴天 旧曆九月三日

一 今日川狩取企、二階堂元知代・児島謙吉・町藤左衛門同伴、尾之下作右衛門召列、上之市川原江出張候、網打は大窪養甫・岩城孫太郎・右田仲次郎・迫田四右衛門ニ而候、綱彦・鶴千代も召列候、七ツ後罷帰候事

同廿四日 晴天 旧曆九月四日

一今日無事ニ而内居、謙介鹿兒島ヲ帰郷いたし候事

同廿五日 晴天 旧曆九月五日

一今日内居候、部屋地震柱ノ礎ニ相成候石、本城江頼置候付、野町ニ四人相頼、下人源之助相添石持ニ遣候事

酉十月廿六日 晴天 旧曆九月六日

一今日内居、大工大迫伝四郎・青木十右衛門・横間之三次郎相頼、部屋之地震柱調方并庭垣之柱作方いたし候事

同廿七日 晴天 旧曆九月七日

一今日無事ニ而内居、昨日大工不相濟候付、今朝迄三次郎相頼成就いたし、墨ぬりとして町金蔵相頼候、左候而垣之柱立方等いたし候事

同廿八日 曇天夜雨 旧曆九月八日

一今日内居、庭之竹垣いたし候事、晩は兒島大助所江明日之忌祭ニ付差越候事

同廿九日 雨半天 旧曆九月九日

一今日叔父亡兒島次左衛門小祥之忌祭ニ而九ツ時分ニ差越候、七ツ時分罷帰候、尤今朝菊之覆柱立苦葺方抔いたし候事、町吉次郎相頼候

同三十日 晴天 旧曆九月十日

一今日内居、菊之覆壁廻杉なめし成就いたし候事

酉十月三十一日 晴天 旧曆九月十一日

一今日内居、四壁庭廻都而垣普請いたし候、加勢人福山金之助・新留居住吉井林太郎・東迫之正次郎・新蔵・袈婆市・太郎・横間之正左衛門・小塚之袈婆市・小牧迫之善太九人并下人之源之助・市太郎

酉十一月一日 晴天 旧曆九月十二日

一今日迄二垣普請相濟候、加勢人吉井林太郎・東迫之袈婆市兩人二而候

同二日 晴天 旧曆九月十三日

一今日内居、養蚕方本手貸付銭取揚方いたし、町安左衛門・吉次郎参り、算面いたし候事

同三日 晴天 旧曆九月十四日

一今日内居、町吉次郎相頼、障子張替いたし候事

月食 酉十一月四日 晴天 旧曆九月十五日

一今日無事二而内居

同五日 晴天 旧曆九月十六日

一今日宗社祭礼、敬罷在候客人は波見之東太郎、百太郎其外女共并宮下村辺に參候事

同六日 晴天 旧曆九月十七日

一今日無事ニ而内居

立冬 同七日 晴天 旧曆九月十八日

一今日内居、高城之博勞共馬見ニ差越候事

同八日 晴天 旧曆九月十九日

一今日内居、宮下村社祭ニ而鶴千代・なを差越候事

同九日 晴天 旧曆九月廿日

酉十一月十日 晴天 旧曆九月廿一日

一今日酉之宮祭礼ニ而拙者乘馬差上候

一二階堂元知代・児島謙吉・守屋周一郎同伴、町之虎藏召列、湛水院之岡南之鼻江紅葉見ニ差越候、四ツ時分より出立、塚崎より西之川辺致歩行、中牟田を下り右之場所江差越候、日入時分罷帰候事

同十一日 晴天 旧曆九月廿二日

一今日無事ニ而内居、昨日長峰良之進高須ニ差越、掃掛大始良ニ而麓人共致狼藉候由承候事

同十二日 晴天 旧曆九月廿三日

一今日無事ニ而内居、竹田神社御神事ニ而候

同十三日 晴天 旧曆九月廿四日

一今日無事ニ而内居

同十四日 晴天 旧曆九月廿五日

一今日波見住吉神社祭礼ニ而、家中中都而差越候付、跡ニは町三藏、娘つる相頼置、母・拙者兩人留主ニ而罷在候事

西十一月十五日 晴天 旧曆九月廿六日

一今日波見^ら家内之者共罷歸候事

同十六日 晴天 旧曆九月廿七日

一今日内ニ居、野村伝之助・内之浦謙助・日高亀千代其外ニ才之面々、今日^ら会誂ニ参候、左候而以来会誂は隔日之筋ニ究置候事

同十七日 晴天 旧曆九月廿八日

一今日無事ニ而内居

同十八日 晴天 旧曆九月廿九日

一今日無事ニ而内居、会説之面々参候事

同十九日 雨天 旧曆九月晦日

西十一月廿日 晴天 旧曆十月朔日

一今日無事ニ而内居、二才之面々会説ニ参候事

同廿一日 曇天少時雨 旧曆十月二日

一今日曾祖母忌日ニ而墓参いたし候、先日町善次郎鹿兒島江差越候付、山元氏江菊之芽申越置候処、今日善次郎罷帰、菊之芽九種被贈呉相届候、宮下村之三四郎錢借用ニ参候事

小雪 同廿二日 晴天 旧曆十月三日

一今朝町彦市・吉次郎相頼、昨日相届候菊之芽植付方いたし候、八ツ後二才之面々会説ニ参候事

同廿三日 晴天夜雨 旧曆十月四日

一 今日無事ニ而内居

同廿四日 雨半天 旧曆十月五日

一 今日内居、八ツ時分も二才之面々会説ニ参候、今日柿元武右衛門所髪立祝ニ而被招、家内之者共差越候事

酉十一月廿五日 晴天 旧曆十月六日

一 今日朝馬乗いたし候、夫も無事ニ而内居候事

同廿六日 晴天 旧曆十月七日

一 今日無事ニ而内居、二才之面々八ツ後も会説ニ参候事

同廿七日 晴天 旧曆十月八日

一 今日朝馬乗いたし、夫も無事ニ而内居候事

同廿八日 晴天夜雨 旧曆十月九日

一 今日朝馬乗いたし夫も内居、八ツ後津曲休五郎参り、波見之東太郎参候、夫も二才之面々会説ニ参候、謙介ニは
不参ニ而候事

同廿九日 雨半天 旧曆十月十日

一今日無事ニ而内居、東之丞・町長吉列立、申良新川西方限江鶉駝ニ差越、夜入罷帰候事
一矢神善寿郎今日病死、明日葬送之由承候事

西十一月三十日 雨半天山見雪 旧曆十月十一日

一今朝馬乗いたし候、終日内二居、八ツ後右二才之面々会説ニ参候事

十二月一日 曇晴天 旧曆十月十二日

一大崎庐山次左衛門母昨日病死、今日葬送ニ付類中大崎江差越、拙宅右妻差越候、拙者ニは日高宗次郎所江四ツ時分右悔ニ差越、八ツ後一刻罷帰、晚付亦々差越居候、夜入五ツ後拙者ニは罷帰候、大崎江差越候面々は夜四ツ後帰着

同二日 晴天小地震 旧曆十月十三日

一今朝馬乗いたし候、四ツ後右町彦一・吉次郎差越菊植替いたし、終日内居候事、波見之東太郎内用ニ付参候事

西十二月三日 雨半天 旧曆十月十四日

一今日終日内居、朝山つミいたし、児共二垣之内掃出方為致候、七ツ時分切通強兵衛咄ニ被参候、晩は児玉弥七郎咄ニ参候事

同四日 晴天 旧曆十月十五日

一今日朝馬乗いたし候、八ツ時分日高佐一郎参、夫と二才之面々会説ニ参候事

一今日八幡神社御神事ニ而候事

同五日 晴天 旧曆十月十六日

一今日無事ニ而内居

同六日 雨半天 旧曆十月十七日

一今日ニ内居、八ツ後と二才之面々会説ニ参候、山元氏と菊之芽参、彦市頼植付候事

大雪 同七日 晴天 旧曆十月十八日

一今晚と腹痛いたし、周一郎相頼、及葉用候事

酉十二月八日 晴天 旧曆十月十五日

一今晚腹痛相止候得共、終日臥居候事

同九日 晴天 旧曆十月廿日

一今日無事ニ而終日内居、朝は児玉東一参、昼は二階堂元知代被参候事

一柏原之萩原静吾妻死去ニ付、拙妻悔ニ差越候事

同十日 曇晴天晩雨 旧曆十月廿一日

一今日内ニ居、八ツ後を二才之面々会読ニ参候事

同十一日 晴天 旧曆十月廿二日

一今日内ニ居候、八ツ時分馬乗いたし候、去ル五日以来乗方取止居候事

同十二日 晴天 旧曆十月十二日

一今朝垂水石踊岩右衛門参候、八ツ時分を二才之面々会読ニ参候事

西十二月十三日 曇晴天 旧曆十月廿四日

一今朝馬乗いたし候、夫を風邪気分ニ而終日臥居、及薬用候事

同十四日 晴天 旧曆十月廿五日

一今日終日内居候、二才之面々会読日ニ候得共、野村伝之助・日高佐一郎・守屋周一郎・謙助不参ニ而取止候事

同十五日 曇晴天 旧曆十月廿六日

一今朝馬乗いたし候、夫を内居候、波見之東太郎家内之者共参候事

同十六日 雨半天 旧曆十月廿七日

一 今日内居、八ツ後と二才之面々会説ニ参候、此晚付と風邪再感之気分ニ而、早目ニ臥候事

同十七日 晴天 旧曆十月廿八日

一 今朝起上り候得共、風邪気分不宜候付、薬用いたし候、波見東太郎祖母今日帰

酉十二月十八日 晴天 旧曆十月廿九日

一 今日と風邪も少は抜候様有之候、八ツ時分と二才之面々会説ニ参候事

同十九日 晴天 旧曆十月晦日

一 今朝馬乗いたし候、夫と明日氏祭靈祭いたし付、謙助にも参、彼是仕廻いたし候事

同廿日 晴天 旧曆十一月朔日

一 今日氏祭靈神祭いたし、類中も不残相招候事

同廿一日 雨半天 旧曆十一月二日

一 今朝馬乗いたし候、昼は二才之面々会説ニ参候事

冬至 同廿二日 晴天 旧曆十一月三日

一 今日終日内居、野町江魚一手買相始り、町中納得不致、色々申立由承候、是は第一役々不行届事ニ候

西十二月廿三日 晴天 旧曆十一月四日

一今朝馬乗いたし候、八ツ時分二才之面々会説ニ参候事、今日大工大迫伝四郎頼候事

同廿四日 雨半天 旧曆十一月五日

一今朝成合盛演参候、中馬場通明ケ方有之、普請夫相揃候ハ、一刻差越、縄張いたし呉候様盛演ヲ承候付、四ツ前差越見候、夫ヲ内居候事

同廿五日 曇晴天 旧曆十一月六日

一今日内二居、八ツ時分二才之面々会説ニ参候事

同廿六日 曇天晩雨 旧曆十一月七日

一今朝馬乗いたし候、夫ヲ内居、水仙花生方いたし候事

同廿七日 雨半天 旧曆十一月八日

一今朝守屋周一郎相頼箒作方いたし候、八ツ時分二才之面々会説ニ参候事

同廿八日 雨半天 旧曆十一月九日

一今日終日内居、無事

西十二月廿九日 曇晴天 旧曆十一月十日

一 今朝馬乗いたし候、八ツ時分ち二才之面々会説ニ参候、野村伝之助不参

同三十日 雨半天 旧曆十一月十一日

一 今日終日内居候、鹿巢河俣仲次郎殿外二一人列立、河俣休次郎所江被差越、先日ち滞在有之候付、今日相招候
処、九ツ時分日高佐一郎同道二而被参、七ツ时被罷帰候、列合之人は先日怪我被致、得不被参候事

同三十一日 雨天 旧曆十一月十二日

一 今日無事、終日内居